

意見交換テーマは『10年後の鶴ヶ島市、そして市議会』



春の改選後初めて、そして、埼玉県内初の実施から12年目の議会報告会。テーマは、『10年後の鶴ヶ島市、そして市議会』です。

今回は、もっと多くの市民と交流するために、「将来も鶴ヶ島に住みたいか」、「議員報酬がいくらなら議員になりたいか」等、具体的な質問事項を掲げて、新人議員とともに、富士見地区地域支え合い協議会、西入間青年会議所、そして、鶴ヶ島中学校生徒会の皆様への事前インタビューを実施し、議会報告会当日、その映像を流しました。そして、同じ質問をもとに懇談し、多くの励ましの声もいただきました。ありがとうございました。

議会改革推進委員会

委員長 山中 基充

議会から参加者への質問 Q

- ① 議員にはどういったときに相談しますか？
- ② 市議会議員を増やすには？



1 A 学校のことや子どもの心配事を相談している。頼りにしています。

1 A 議会の内容を教えてもらっている。鶴ヶ島全体のことを知ることができる。

2 A なぜ議員は全員同じ報酬額なのか。

2 A 議会の情報提供を。

議会から参加者への質問 Q

- ③ 鶴ヶ島の好きなところ・不満なところは？



3 A 鶴ヶ島は災害に強いといわれるが、災害時の対応について油断していないか。

3 A 緑が多い。

3 A ほっとする。住みやすい。

誌面の構成上、意見の一部を割愛しています。ホームページも御覧ください。



ホームページはこちら

<https://www.city.tsurugashima.lg.jp/page/page006290.html>

アンケート意見 (一部の紹介)

- ・中学生にインタビューできたことはとても画期的なことだと思えます。それを発展させて小・中・高校と議会の関わりを増やせたらいいと思います。子どもが関心を持つことで親にも伝わるがあると思います。
- ・防災対策を頑張ってもらいたいです。
- ・市民センターなどの方が参加しやすかったのでしょうか。
- ・市民が議員と懇談するのは敷居が高いので、このような会は有り難いし、ためになります。いろいろな立場の声を聴くことは大事である。ことを議員一人ひとりが、しっかりと自覚を持ってほしいと思います。